

学 校 だ よ り

大阪市立今川小学校

06-6702-5653

学習の秋・紅葉の秋・・・



さわやかな仲秋の好季を迎え、秋の深まりを実感する今日この頃です。
さて、今週はいよいよ運動会です。これまでの練習の成果を発揮し、力いっぱい頑張る子どもたちの姿が楽しみです。全力で取り組む姿にご声援をお願いします。

おとなの見守る勇気！

10月15日・16日の2日間、府立青少年海洋センターで5年生の自然体験学習を行いました。2日間でもとても貴重な体験を行うことができました。多人数で協力する体験が多く、実際にやってみると上手くいかないことがたくさんありました。その代表格は、学級ごとに乗り込んでのカッターボートの活動でした。思い通りにボートが進まず、歯がゆさを感じた児童が多かったと思います。漕ぎ始めは、ボートが前に進まず苦戦しました。指示通り、心を一つにオールを入れるタイミングや漕ぐ角度をそろえると、真っすぐ前に進むようになりました。失敗をもとに、考えて行動を修正し、成功に結び付ける素晴らしい活動になりました。こういった成功の体験が、さらなる難関への挑戦・成長に結びつくことと思われます。

大人は、子どもが初めて体験することに対しても、成功させることに気がいきやすいです。それ故、成功させるために、大人が子どもの先回りをして答えを出しがちです。深刻なのは、失敗体験を恐れて体験をやめさせてしまうことです。発達心理学で「少し難しい課題に挑戦する経験が自己効力感を育てる」ことが研究されています。子どもの「できるかもしれない」という気持ちが成長の原動力になります。大人は、子どもの挑戦の芽を摘まないことが大切です。そのことが、子どもにとって「やっても叱られる」「失敗は悪いこと」の考えをなくし、次の一步に踏み出すことにつながります。「できた」という実感が生まれるように、大人は先回りせず、成長の助けとなる「子どもを見守る勇気」を持つことが必要です。

運動会まで、あとわずかです。「全児童が、全力で練習する」「当日自分の力を出し切る」経験を積ませるために教職員一丸で指導しています。保護者の皆様には、自分のお子さんの日々の頑張りや変化をほめていただけると幸いです。運動会の話題の際に、ついついかけっこや競技等の結果に話題がいきがちです。特に、周りの子との比較する内容は、心理的に挑戦する意欲を下げる場合があります。これらが続くと自己肯定感が下がる傾向があります。運動会の後で「スタートがよかった」とか「手足が伸びてきれいだったよ」と具体的で肯定的な称賛をしていただきますようお願いいたします。文末になりましたが、今年度より運動会という形式で行います。保護者や地域の願いも取り入れた令和型の運動会になります。安心・安全で楽しい今川小学校の教育活動を展開していきます。保護者や地域の皆様には、学校教育活動へのご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

校長 吉川 秀樹

お知らせ（卒業式の日程について）

卒業式の日程が、3月18日（水）に決まりましたので、お知らせいたします。